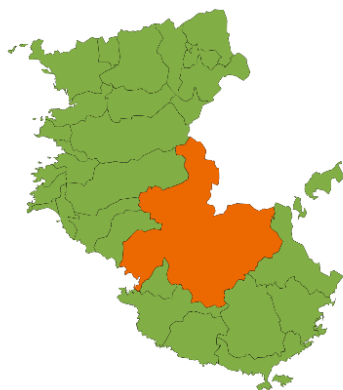


## 和歌山県田辺市龍神村地域

### 「林業×地域」の再発見による 地域将来ビジョン策定とシナリオプランニング



#### 【活動の基本情報】

参加学生数：8名（2年生：2名、3年生：2名、4年生：4名）

活動期間：2021年5月～

担当教員：大浦由美

#### 1. 活動実施の経緯

龍神村地域は、県下でも有数の林業地であるが、田辺市との合併以降、人口流出が続き、高齢化も進行している。本地域の維持・発展のためには、地域随一の資源である森林資源の活用は不可欠である。そこで、林業だけでなく、より多様な林産物や森林空間の活用等を含め、現場に学び、「森林・林業を活かした地域将来ビジョン」の作成とその実現方策の検討・提案を目指し、2021年度から活動を開始した。

#### 2. 活動の内容

- (1) 林業・特用林産物に関する事前学習（9/1）
  - ・和歌山県および龍神村の森林・林業・木材産業（県庁林業振興課・大澤一岳氏）
  - ・和歌山県の特用林産物（県林業試験場・坂口和昭氏）
- (2) 現地視察およびヒアリング（9/27-28、11/12）
  - ・木材生産の流れを知る：伐採現場→龍神村森林組合→原木市場→製材工場
  - ・林業従事者、特用林産物、木工生産者との意見交換（浦光良氏、森林工房大江、G-Works）
  - ・アートによる地域振興：龍神村・ドラゴンミュージアム
  - ・若い世代との意見交換：龍神中学校
- (3) 資源地図作成（10、11月）：現地調査とヒアリングを基に、森林資源活用の特徴を「資源地図」としてまとめた。
- (4) ワークショップ（12/4）：森林・林業関係者、学校関係者に対し、現地調査の報告とワークショップを実施し、地域の将来ビジョン策定に向けた課題を整理した。
- (5) 現地報告会、意見交換（2/19）：12/4の内容をまとめ、本年度の成果として報告する。

#### 3. 活動を通じて

対面での調査やワークショップを実施し、昨年度の提案をさらに深め、課題を抽出することができた。次年度はこの成果を地域将来ビジョンづくりに繋げていきたい。

#### 4. 成果ポスター

2022年度 龍神LPP 岡田・加藤・栗川・小西・重本・長・築地・林

## 「林業×地域」の再発見

～森林・林業を活かした地域将来ビジョンづくり～

古くから林業が盛んな龍神村（田辺市）で、森林を活かした「地域将来ビジョン」を地域の方々と共に考え、住民の皆さんに提案していきます。

今年度は、龍神村や和歌山県の林業、特用林産物について事前学習をしたうえで、実際にその現場で見学や体験を行いました。



第1回目の現地見学は2日間行いました。

1日目は、木材市場の見学や伐採現場の見学に加え、林業を生業としているIターンの方へお話を伺うなど、林業と暮らしに着目した学習をしました。

2日目は、地元ブランドの龍神真榊をつくった大江さんのお宅に伺い、地元ブランドへの誇りや働きぶりを学びました。それだけでなく、浦さんという半農半林の生活をしている方へお話を伺うなどして、龍神村での生き方や地域の将来について見解を深めました。

資源地図のタイトルは「『木と共に人と共に』森が支える未来への挑戦」です。龍神村にある自然と生きる人たち、そんな人たちがつくるステキなつながりを図に落とし込みました。そこから見えてきた、龍神村住民の挑戦と課題を私たちLPPチームが洗い出して整理しました。



現地で行われた成果発表会では龍神村の農林業に携わる方々へ出席して頂き、意見交流を致しました。「龍神で、夢を描こう。」を実現する為、そして今後の龍神村をどのように考えていくかなど龍神村の村内の方々の意見と私たち龍神LPPとしての外部からの意見を交える事で問題点や今までに無い着眼点を得ることが出来ました。

成果発表会を通じて龍神村の方々の龍神村に対する想いをより感じる機会となりました。

日付		活動
9月	1日	事前学習(in和大)
	27～28日	第1回現地学習
10月	7日	振り返り学習
11月	6日	第2回現地見学
	11日	振り返り学習
	22日	龍神中学校訪問
	25日	資源地図作成
12月	2・3日	資源地図作成
	4日	成果発表会(in龍神)

## 合同報告会 当日の様子

和歌山県田辺市

テーマ：「林業×地域」の再発見による地域将来ビジョン策定とシナリオプランニング

田辺市龍神村 LPP は昨年度発足したプログラムなので、まず LPP の概要と目的を紹介しました。その後、主な活動を紹介しました。本報告会で一番重きを置いたことは、昨年度の活動との違いです。昨年度は新型コロナウイルスの拡大と縮小に振り回され、現地での調査活動や住民の方との交流を十分に実施することができ



きませんでした。今年度はコロナによる活動の制約が緩和され、現地活動が活発にできたこともあり、住民の方々と私たちの交流だけでなく LPP のメンバー同士の交流も盛んに行うことができました。このことを、報告でうまく伝えることができたと感じています。

コメントシートで寄せられた質問について回答します。

Q. 「龍神村の情報発信はどのように行っていますか。」

A. LPP での情報発信はしていませんが、私たちの活動について紀伊民報で取り上げていただきました。